

| | |
|----------------------|--|
| ・ 装備・資機材自体に問題があった。 | |
| ・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | |
| ・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。 | |
| ・ 必要とする装備・資機材がなかった。 | |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|----------------------------------|--|
| ・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | |
| ・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|-------------------|----|
| ・ 狭隘な場所であった。 | |
| ・ 暑かった（寒かった）。 | はい |
| ・ 野次馬が多かった。 | |
| ・ 現場周辺の地理に不案内だった。 | |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|--|
| ・ 足元が躓いたり滑りやすかった。 | |
| ・ 足元の強度が不足していた。 | |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|--------------------------------------|--|
| ・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | |
| ・ 指示内容に誤り・偏りがあった。 | |
| ・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|-----------------|--|
| ・ 隊員の連携が不十分だった。 | |
| ・ 隊員が不足していた。 | |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|--|
| |
|--|

【負傷事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

| |
|----------------|
| より集中するように心がけた。 |
|----------------|

○装備・資機材の対策について

| |
|--|
| |
|--|

○活動環境の対策について

| |
|--|
| |
|--|

○指揮・情報伝達の対策について

| |
|--|
| |
|--|